

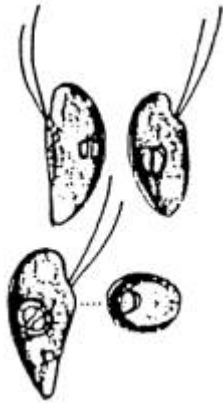
瀬田川プランクトン調査結果速報

～ 第31報～

滋賀県立衛生環境センター
琵琶湖水質担当
平成14年10月28日

1. 最も数が多かった種類（優占種）

植物プランクトン第1優占種



Rhodomonas sp.
(ロードモナス)
褐色鞭毛藻綱

細胞は、長楕円形で長さが約10 μmと小型であり、葉緑体は少し赤みを帯びている。
2本の鞭毛を有する。

動物プランクトン第1優占種



Nauplius
(ノウプリウス)
甲殻類

ケンミジンコ等のミジンコ類の幼生。
中央に円盤状の口を有する。

コメント

植物プランクトン総細胞数、種類数ともに引き続き少なかった。カビ臭を生成するアナベナ スピロイデスも今回は減少した。今回の速報の中で、珪藻綱のメロシラ(オーロコセイラ) グラヌラータが比較的多く計数された。本種は、毎年この時期に増加する種類である。動物プランクトンはノウプリウスが最も多く、ついでスナカラムシが多かったが、全体には少なかった。

2. 見つかった主なプランクトンとその数（個体数）

(1) 動物プランクトン

第 1 優 占 種		個体数 (個体 / l)
甲 殻 類	Nauplius	21

第 2 優 占 種		個体数 (個体 / l)
繊毛虫類	<i>Codonella cratera</i>	10

* 個体数については、プランクトンネットで採取したものを直接検鏡して計測した。

瀬田川植物プランクトン調査結果速報

滋賀県立衛生環境センター
琵琶湖水質担当

平成14年10月28日

第31報

(2) 植物プランクトン

(綱) 種 名	細胞数 (群体数)	優占種(占有率)	
		数	体積
(藍) <i>Anabaena spiroides</i> var. <i>crassa</i> *	1		
(藍) <i>Oscillatoria</i> sp. *	1		
(珪) <i>Melosira granulata</i> var. <i>angustissima</i>	72		
(褐) <i>Cryptomonas</i> sp.	40		
(褐) <i>Rhodomonas</i> sp.	160		
(藍) 藍藻綱	2	0.7	14.4
(黄) 黄緑藻綱	0	0.0	0.0
(黄鞭) 黄色鞭毛藻綱	0	0.0	0.0
(珪) 珪藻綱	72	26.3	13.6
(渦) 渦鞭毛藻綱	0	0.0	0.0
(褐) 褐色鞭毛藻綱	200	73.0	72.0
(み) みどり虫藻綱	0	0.0	0.0
(緑) 緑藻綱	0	0.0	0.0
(他) その他のプランクトン	0	0.0	0.0
総 細 胞 数	274	総体積 (μm^3)	1.32E+05
種 類 数	5		

- 注1) 細胞数の単位は(細胞/ml)
ただし*印の種は群体数(群体/ml)
- 注2) 優占種は が第1優占種、 が第2優占種
数字は各綱ごとの占有率(単位:%)
- 注3) 細胞体積は、顕微鏡観察による画像から
試験的に推定した概算値である。